

行政版



- ◆ 新年のごあいさつ
- ◆ 平成24年第4回定例議会の結果について
- ◆ 文化貢献賞被表彰者と文化奨励賞被表彰者
- ◆ 年末年始の公共施設の開館等予定
- ◆ 巡回障がい者相談会について



● 文化貢献賞被表彰者 <喜茂別町文化団体協議会推薦>

No	氏名	事績
1	佐藤 コヨ	○ 平成3年に全道シルバー展に入賞し、平成4年度に町文化奨励賞受賞（木彫） ○ 平成10年まで5年以上町文化団体協議会役員を務めた他、スズラン俳句会副会長を平成20年まで15年以上にわたり務める
2	佐藤 百合子	○ 平成14年北海道歌人会大会に入選し、平成14年度に町文化奨励賞受賞（短歌） ○ 昭和63年から現在まで成人書道会会長、昭和60年から平成20年まで短歌会副会長、平成21年より現在まで同会会長を務める ○ 現在まで18年以上にわたり町文化団体協議会理事、町文化祭実行委員を務める ○ 平成24年度道民芸術祭第49回後志短歌大会実行委員長を務めた他、同大会で最優秀受賞

● 文化奨励賞被表彰者 <喜茂別町文化団体協議会推薦>

No	氏名	事績
1	荻野 榮子	○ 平成13年から現在まで民謡同好会会長、平成20年から現在まで舞踊サークルあやめ会会長、平成13年から現在まで町文化団体協議会副会長を務める ○ 町文化祭や町の各種イベントに積極的に参加・協力し、町内の文化・芸術振興に寄与
2	押切 ふみ子	○ 平成7年より木彫クラブに入会、町文化祭や北海信用金庫喜茂別支店等へ積極的に作品を展示 ○ 平成11年まで5年以上あやめ会副会長を、平成11年から平成15年まで同会会長、平成17年度に木彫クラブ会長を務める
3	吉見 啓一	○ 平成元年より俳句を始め、道内主要俳句誌「かでる」、道新文芸「私の作品」欄に作品を常時発表 ○ 道民芸術祭参加後志俳句大会で例年上位入選 ○ 平成8年から現在までスズラン俳句会副会長兼事務局を務める ○ 平成9年から平成19年7月まで町文化団体協議会事務局長、平成19年7月から現在まで同会会長を務める

年末年始の公共施設の開館等予定

(平成24年12月27日～平成25年1月7日)

施設名	12/27 (木)	12/28 (金)	12/29 (土)	12/30 (日)	12/31 (月)	1/1 (火)	1/2 (水)	1/3 (木)	1/4 (金)	1/5 (土)	1/6 (日)	1/7 (月)
役 場	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
ふれあい福祉センター	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
農村環境改善センター	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○
きもべつ笑み～な	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
喜茂別厚生クリニック	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○
林 クリニック	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○
喜茂別 歯科	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
ふじ歯科クリニック	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
ごみ収集	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○

巡回障がい者相談会について

本町にお住まいの障がいのある方やそのご家族を対象に、巡回障がい者相談会が行われます。生活で困っていることや将来のことで悩んでいるなどの相談について、社会福祉士・精神保健福祉士・相談支援専門員等の資格をもった羊蹄山ろく相談支援センター（倶知安町南3条東2丁目1番地）の相談員が対応いたします。

相談料は無料です。また相談の際の秘密は厳守されますので、お気軽にご利用ください。

日 時	平成25年1月22日（火）午後1時から4時まで
場 所	ふれあい福祉センター保健資料室

人口	
人口と世帯 (11月末現在)	男 1,191人 (+1人) 女 1,173人 (±0人)
合計	2,364人 (+1人)
世帯数	1,227戸 (±0戸)

()は前月比

平成24年第4回定例議会の結果について

平成24年12月13日に行われた第4回定例議会から、以下の3点について掲載いたします。

○ 高齢者見守りコールセンター事業について

安心・安全な高齢化社会の構築を目的とした高齢者見守りコールセンター事業が12月11日より開始されました。

コールセンターは、町内に住んでいる75歳以上の独居の方におしゃべり回覧板のアンケート機能を活用した安否確認や相談を希望する高齢者に対する健康相談等の実施、さらには、必要に応じ東京の医師やスタッフによる相談支援を行うものです。

高齢化が進んでも孤立する高齢者がでないよう、本事業をはじめ、高齢者の見守り、健康増進を地域をあげて進めてまいります。



○ 観光振興について

国道230号線を通る通過型観光から、喜茂別の立地特性や特産品などを生かした停留型観光への転換が必要であることから、今後の喜茂別町の観光のあり方について、広く関係機関の皆様のご意見を伺うため、意見交換会や検討会を開催してまいりました。

検討会では、本町を取り巻く観光環境が大きく変化したことが確認され、特産品の開発を進めると共に喜茂別ブランド化やあらゆる機関との連携の必要性それを取りまとめるための組織の立ち上げが必要であるご意見を頂戴しております。具体的な組織の内容について確認され次第、改めて町民の皆様にご報告いたします。

○ 倶知安厚生病院の今後の取り組みについて

国の医療費抑制政策により、倶知安厚生病院の経営にも深刻な影響をもたらしています。管内7カ町村の財政支援を仰ぎ経営の継続行っているが、平成25年度から3カ年計画を策定し、収支の均衡、自立経営を目指し、事業性を確立することとなっています。

本町における喜茂別厚生クリニックについても、同様の課題があり、指定管理者制度の導入についても検討しているところであるが、基本的には入院を伴わない診療所として考えています。

倶知安厚生病院は、二次医療、入院可能病院として重要であり頼りにしているところであるため、他町村と力を合わせ、健全なる病院経営が継続されるよう努めてまいります。



新年明けましておめでとうございます

町民の皆様には、新たなお気持ちで新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃より、町政に対するご理解と絶大なるご協力を賜り感謝申し上げます。また、町民の皆様と一緒にまちづくりを進めてまいり、昨年も着実に本町発展への基盤を固めることができました。

その中の一つに、溪仁会による特別養護老人ホームが6月に開所いたしますが、これに伴い、町民の安心はもちろんのこと、雇用拡大と民間住宅の確保、新たな消費循環、そして人口安定につながる「まちづくり」が可能になると考えております。

さらに、本町の高齢化率は3人に1人が65歳以上となっており、高齢者が安心して暮らすことができる町を目指さなければなりません。そのためには、予防・介護・医療をしっかりと組み合わせ実施することが求められます。特に医療については、時代と町民の皆様の要望に応えられるよう努力したいと思います。

昨年末には、第46回衆議院議員選挙が行われ、政権が変わりました。震災復興・領土問題、デフレ脱却などの厳しい課題解決が求められております。国政によって地方は多大な影響を受けますが、本町がさらに発展できるよう議会の皆様にご理解を賜り対応してまいります。

終わりに、町民の皆様のご多幸を心からご祈念申し上げ、合わせて本町の様々な分野でのご発展をお願いし、年頭のご挨拶といたします。



喜茂別町長 菅原 章嗣

新年あいさつ

平成25年の新年を迎え、町民の皆様にご挨拶申し上げます。

昨年は、九州地方を中心に台風や集中豪雨により道路や家屋に相当な被害が発生し、さらには、12月の中央自動車道トンネル天井崩落事故では9名が犠牲となり、また、当町でも5月の豪雨と融雪水により中山峠で土砂崩れが起こり、国道230号が3週間余り不通となるなど、自然災害の恐ろしさや老朽化したインフラの整備・点検の重要性を痛感した年でありました。

当町にとって、国道230号は観光・運輸面に限らず、生活・医療にも必要不可欠な道路であると思われ知らされましたが、その思いから、日本の経済・観光にとって重要な路線である中央自動車道の早期復旧を切に願うものであります。

一方、当町の雇用状況において、働く職場が少ないことから若者が転出し、少子高齢化が進む中で、町おこし協力隊員8名の定住や昨年8月に営業を開始したヨコレイ喜茂別物流センターで4名の雇用、また、建設中の溪仁会特別養護老人福祉施設でも多数の職員の雇用が見込まれ、人口の減少に一定の歯止めがかかることを期待しているところであり、議会としても、雇用拡大などの施策の充実が図られるよう、力を傾注していく所存でございます。

最後に、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げるとともに、より一層のご支援とご協力を賜りますことをお願いし、新年のごあいさつとさせていただきます。



喜茂別町議会議長 戸井 博志